

令和3年度「市長と語り合う会」について（道川地区）

1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和3年 8月23日（月）	道川公民館	19:00～20:00	8	1	9

- 市側出席者
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
 - ・ 会の趣旨説明
 - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

1. 令和3年度施政方針「コロナ対応と次の跳躍への備え」

・ワクチン接種

昨年度は国の特別定額給付金をいち早くお届けすること、市独自の緊急経済応援給付金などを重点に進めた。今年度はワクチン接種の円滑な推進が重要な事業となる。まずは医療従事者、高齢者福祉施設入居者及び事業従事者、次いで基礎疾患のある方や高齢の方への優先接種と進めている。65歳以上の方については国からも強い要請があり、9割の方が1回目を、8割を超える方が2回目を終えている。現在は50歳以上の方への接種を進めている。全市民の約6割が1回目、4割強の方が2回目を終えている状況である。50歳未満については2日前から予約受付を始め、接種開始は9月6日からとなる。ワクチンの供給状況によるが、10月下旬までには希望者への接種を完了していきたい。ワクチンは感染予防・重症化のリスクをかなり小さくできるとされており、都市部でも接種が進んだ高齢者の感染は減少している。現状は市内でもほぼ毎日感染者が出ており、まだまだマスク・手洗い・ソーシャルディスタンスなど基本的感染防止策は続けていただく必要がある。引き続きご理解ご協力をお願い申し上げる。

・空港・高速道路関連

令和5年3月までの航空便・東京線2往復運航が決定した。コロナ禍の中では利用促進が訴えにくい状況だが、コロナ後に備えて、いまのうちに準備を進めていきたい。

高速道路については、整備中の三隅～益田道路について令和7年度中に開通する見通しが示された。また昨年度から今年度にかけて、須子～小浜間（益田西道路）、小浜～田万川間（益田田万川道路）の事業化が順次決まり、計画が進んでいる。また久城～高津のIC間が暫定供用となっているが渋滞が発生しており、高架化についても重点要望としていきたい。

・日本遺産認定を活かす施策

この認定により3年間は重点的に国の補助が受けられるので、施設整備・体制整備を行う計画である。特に民間との協力が重要とされるが、国においては認定の見直し・入れ替えも考えにあるとのことで、取組みが十分でないところは認定を取り消される可能性がある。近隣の事例も参考に、活発な活用施策を図っていきたい。

・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

中学高校の6年間を、一貫した形で行い、高卒後、あるいは大学卒業後のUターンにつなげる狙いや、市の教育水準を引き上げることを目指した取組みである。その前段階の小学校教育や大学・社会人も刺激を与え、ひとつづくりを推進する。また、島根大学との連携を行う予定である。

2. 美都・匹見総合支所の名称変更

合併以来、旧町役場に支所を設置し部長級の支所長を配置し、4課或いは3課編制を経て現在は地域振興課1課で運用してきたが、令和4年度からは支所長を置かず、課としての体制で運営する。こうした体制縮小や人員減は、利便性低下など懸念を持たれると思うが、本庁を含めて人員削減などの合理化は進めなければならない。道路整備やリモート会議の体制なども整いつつあり、利便低下をきたさないよう工夫していきたい。

匹見地域は美都よりさらに距離があり、災害対応など現地人員の確保が重要である。地域特性に合わせ、ある程度現地で完結できる体制づくりを念頭に機構改革を考えていく。厳しい選択と認識しているがご理解をいただきたい。

○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 公民館長の採用について
- ② 旧道川小施設の利活用について
- ③ 匹見峡温泉について
- ④ 匹見小中学校の同一校舎について
- ⑤ コロナ禍における都市圏との連携について
- ⑥ 道川～横田ルートについて
- ⑦ 運動会のコロナ対策について
- ⑧ 流木の対応について
- ⑨ 図書館の雨漏りについて

○ 閉会（秘書課長）

令和3年度「市長と語り合う会」

〔会場 道川公民館 開催日時：令和3年8月23日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 新型コロナウイルス感染症について 感染者の誹謗中傷はいけないと放送されているが、住民として感染経緯・経路は知りたい。また、デルタ株感染者が出てきているのか。今後の見通しはどうか。</p>	<p>① 基本的には、県が新規感染者と接触し調査を行ない、ホームページで公表し、対応して市も同情報を発しており、それ以上詳しいことは知り得ない。たしかにもっと詳しい情報が出ればよいが、感染を自覚しても名乗り出なかったりして状況が悪化することを防ぐ意味でも、個人を特定できるような情報は県も出していない。そうした判断を尊重する必要がある。デルタ株については主に国の情報となるが、島根県内でも従来型より多くなっていると聞いている。感染者の行動等に関する情報はある程度県のホームページでもわかるので参考としてほしい。</p>
<p>② 旧道川小施設の利活用について 長らく議論しており紆余曲折があるが、意見交換等を経て、老朽化などの現状は理解されてきたと思う。地元も何とか今後活かしていくためには、地域外からの利用も想定したものが必要と考えている。広島から来る方が利用できる場所として行いたい、人材が見つからない。情報提供など協力をお願いしたい。</p>	<p>② 道川の状況については報告を受けており、次の議会に整備費用を計上できるよう調整を進めている。住民の皆様には知恵を出していただき、汗もかいていただくことになるが、もちろん市も同様に取り組んでいくので、よろしくをお願いしたい。</p>
<p>③ 匹見峡温泉について 匹見下の会でも尋ねたが、現状をどう評価しているか。当日質問した意見箱の当初の件を確認していないというのは非常に残念である。</p>	<p>③ 宿泊・食事を除き、温泉のみ営業再開しているが、指定管理者の意向ではできるだけ早く始めたいとしている。意見箱についてはまだ確認していない。評価ということについては、以前の指定管理者が手を引いたときに、地元の強い要望もあり、何とか新しい事業者を選定し、拠点施設として再開している。ただ遠方はもとより市内の方、地元匹見の利用も少ないというのが現状。魅力度を高める必要があると考えている。地域の方にも積極的な利用をお願いしたい。 （「意見箱」は指定管理者が設置しているもので、市がその内容について報告を受けることはない。）</p>
<p>④ 匹見小中学校の同一校舎について 今年からは校舎共有が始まったが、施設面で不十分なところも出てくると思う。バックアップをよろしくをお願いしたい。</p>	<p>④ 全てのご要望にお応えするのは難しいが、できる限りの対応をしていきたい。</p>
<p>⑤ コロナ禍における都市圏との連携について 観光協会の事業で、観光業者のモニターツアーがあったが、コロナ禍の中で東京大阪から来られ、神楽社中が対応した。その対応の在り方について、感染への警戒の声もあると思う。いま都市圏からの来訪者と仕事を共にすることについてどう思うか。</p>	<p>⑤ 悩ましい問題である。万全の感染防止措置を施すことが必要不可欠となる。来ていただくこと自体、相当慎重に判断すべきと考える。</p>

<p>⑥ 道川～横田ルートについて 最近国道 488 号線を夜間通行するトラックが多い。県道 307 号線との接続部分が改善され、広島から津和野方面へ向かう車が増えたようである。道路の維持管理にも影響が出ると思うので国・県への対応への働きかけをお願いしたい。</p> <p>⑦ 運動会のコロナ対策について 来月、中学校で運動会があり、準備している中で、感染防止で無観客としなければならないのかということが気になっている。元々人数が少ないので、何とか普通に開催したいが。</p> <p>⑧ 流木の対応について 8月の高津川の増水の折、流木などが海に流れ込み鎌手方面へ流れた。海水浴場に影響を与えておりどうにか出来ないものか。</p> <p>⑨ 図書館の雨漏りについて 書架の上で雨漏りが発生している。応急処置をされているが、きちんと修繕すべきではないか。</p>	<p>⑥ 県に対して引き続きお願いをしていく。</p> <p>⑦ 最終的には学校側の判断となるが、その過程で保護者等の意見も重要視されると思う。</p> <p>⑧ 県の管轄になると思われるので、県に対し要望していく。住民からの直接の要望も当然できる。</p> <p>⑨ 益田市総合サービスが指定管理者となっているが、建物は市の物であり、市が修繕すべきと思われる。状況を見て対応していく。</p>
--	---